

里山再生モデル事業モデル地区の選定（第3回）について

平成30年3月2日
復興庁
農林水産省
環境省

1. 今般、次の4地区を里山再生モデル事業のモデル地区として選定する。

(1) 田村市（別紙1）

①地区：五十人山

②区域面積：約37ha（全域森林）

③事業内容：家族づれがハイキング等で自然を気軽に楽しめる場として利用されていた五十人山の利用を促進するため、山頂広場の除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

(2) 南相馬市（別紙2）

①地区：国見山森林公園

②区域面積：約39ha（全域森林）

③事業内容：散策等の場として利用されてきた国見山森林公園の利用を促進するため、公園利用者が日常的に立ち入る場所の除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

(3) 檜葉町（別紙3）

①地区：檜葉まなび館周辺

②区域面積：約1.8haうち森林約1.5ha

③事業内容：地域文化交流拠点「檜葉まなび館」等の公共施設周辺の森林において、地域住民が安全に利用できるよう、森林内の歩道等の除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

(4) 大熊町（別紙4）

①地区：頭森公園周辺

②区域面積：約5ha（全域森林）

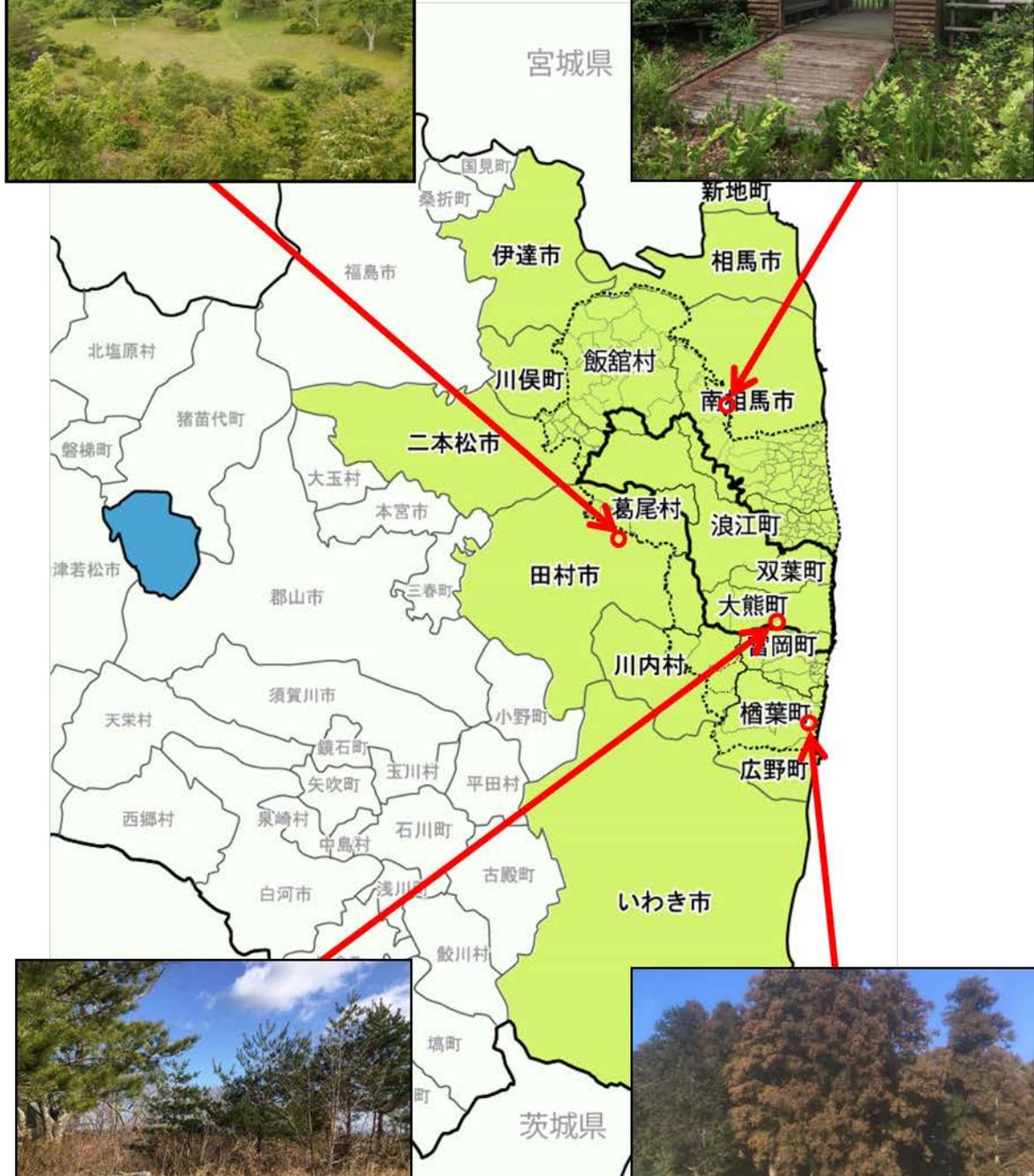
③事業内容：大川原地区内の復興拠点に隣接し、地域住民の憩いの場として利用されてきた頭森公園周辺において、地域住民等が安心して利用できるよう除染、間伐等の森林整備及び線量マップの作成を行う。

2. 既選定箇所を含め、モデル事業から得られた情報を踏まえ、平成31年度を目途に事業の成果を取りまとめる予定。

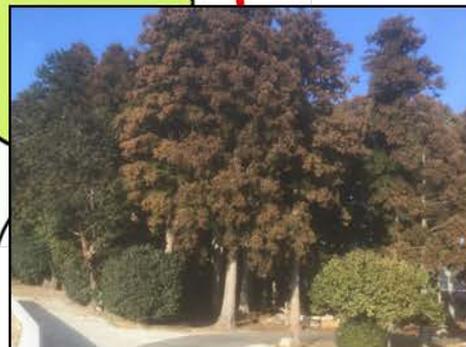
<モデル地区の位置>

田村市:五十人山

南相馬市:国見山森林公園



大熊町:頭森公園周辺



檜葉町:檜葉まなび館周辺